

たんばりんぐ



丹波布の糸つむぎ、はた織りに励む（国の無形文化財）

目次

12月定例会・補正予算審議……………	2
代表(5名)・一般質問(14名)が登壇、市政をただす…	4
委員会報告……………	14
市民の投稿／編集後記……………	16

2006.2
第5号

人口増対策を視野に始動！

第8回12月定例会を平成17年11月30日から12月21日までの22日間の会期で開催しました。その間、一般会計、水道事業会計などの補正予算を審議したほか、少子化対策をめざして動き出した各種条例改正、市の機構改革などの審議を行いました。

また、教育委員会委員の任命など同意案件、32議案を可決承認しました。

保健福祉部を「福祉部」と「健康部」に

市行政組織条例の一部改正

議会は、少子化、若者定着などの人口増対策が早急に必要であると指摘してきました。また、医療費、介護費の増大を防ぐ高齢者対策を求めています。

市はその対応として「健康寿命日本一」をめざし、保健福祉部を廃止し、「福祉部」と「健康部」とする条例改正が提案され可決しました。平成18年4月から、福祉部に新たに

少子課、生活支援課が設置されます。



△急がれる少子化対策

2億2千万を追加補正

一般会計では、歳入で前年度繰越金が10億6700万円、地方交付税が1億5000万円が主なものです。歳出では公債費(返済金)で11億293万が主なもので、公債費の合計は52億1605万円(元金)となりました。

また、新たな予算として、市の医療の調査委託料や移動通信用鉄塔施設の工事費減額、保育所補助金などの補正予算が提案され全員一致で可決しました。

主な審議内容は次のとおりです。

問 特別交付税の4億6千万円減はなぜか。

答 16年度は、合併や災害対策などの特殊な事情がありました。本年度は、それらを見込まず減額しました。

問 保育所補助金はどこへの補助か。

答 幼稚園のない市島地域の5歳児への補助です。

問 移動通信用鉄塔施設について、山南町阿草以外にも携帯の通じない所があるがどうするのか。

答 携帯電話事業者に対して、自主整備するように要望活動を行います。

問 企画費の中に300万円の調査委託料が組まれているが何を調査、委託するのか。

答 日赤の問題も含め、市の医療体制はどうあるべきかを調査委託するものです。

問 県事業団の丹寿荘改築になぜ市が2億500万円の負担をするのか。

答 市島地域の在宅介護支援センター、デイサービスなどを事業団に委託することによる面積分の負担です。

問 非常備消防の備品購入はなにか。

答 消防団123部のアスベスト対応マスクなどです。



△配備される防じんマスク

議会の審議でこう変った

乳幼児、重度障害者の入院医療費を無料に

おでかけサポート事業の条件緩和

17年5月の臨時議会において、県条例改正にもなう福祉医療乳幼児、母子、重度障害者、老人医療の制度改正が提案された。審議過程で「子育て支援」「弱者救済」の観点からも市の独自案により無料化すべきだと主張。市長は「独自案を検討する」と回答。賛成多数で可決。

当初提案

利用対象者は、①のいずれにも該当される方

- ① 65歳以上の高齢者
- ・住民税非課税世帯、所得割非課税世帯の方
- ・要介護認定者または、同程度の方
- ・自動車税の減免を受けていない方

今回、一般質問や審議過程の中で「乳幼児や障害者医療については少子化対策や福祉対策としても無料化すべきだ」と主張。市長は「18年7月から、乳幼児、障害者の入院医療費については負担なし」としたい」旨を回答した。

議会での審議

従来から一般質問や、民生常任委員会などで利用率の低さを指摘していたものである。担当者や民生委員が十分説明できるよう対処すること。

5月以来の議会審議が生かされ「乳幼児、重度障害者の入院医療費は負担なし」となる。

修正提案

①に該当しない方であって、②のいずれにも該当される方が平成18年1月から新たに対象となった。

- ② 70歳以上の単身、高齢者のみの世帯の方
- ・自動車を有しない世帯の方

水道料金統一の見通しは

水道事業会計補正予算

問 母坪浄水場の改修工事で債務負担行為の追加が組まれているが、市全体の配水計画や水質対策をどう考えるのか。

また、施設の整備がまちまちの中で、5年で料金の統一の見込みはあるのか。

答 水量が足りないという中間報告を受けており、今策定中の水道ビジョンを基に、新たな水源の開発また、水質の改善を図りながら料金の統一を行っていきます。

問 旧水上町には老朽管のところがあ、改良しないと料金の統一はできないのではないのか。

答 老朽管は下水道工事に併せて改良されてきましたが、まだ残っている箇所もありますので、順次更新していく考えです。

柏原日赤病院の存続問題浮上

柏原日赤病院の16年度決算は、約3億6000万円の赤字を計上しています。日赤本社は「地域の支援がなければ撤退もやむなし」との方針を出しています。医療の衰退は市民の命に関わる問題です。現在「丹波市の病院のあり方検討協議会」では、国、県の補助金と合併特例債で市立病院を建て、日赤を指定管理者とする案(未だ議会で審議されていない)が出ています。しかし、市立病院は市財政に大きく影響してくる問題です。

議会では、補正予算の審議の中で「調査委託料の内容」を指摘し、市から「日赤の問題も含め、丹波市の医療はどうあるべきかを調査するものです」との答弁を得ました。



△存続問題の浮上する柏原日赤病院

委員には民間人も起用すべき

教育委員会委員の任命

問 教育委員の任命については、市の教育をどう

するかについて広範囲の意見を聞くため、民間人も起用すべきだ。

答 人格高潔で、それぞれの地域で教育に精通した人をお願いしています。

代表質問 一般質問

—— 市政をただす ——

12月定例会

丹波市議会第8回定例会で、代表質問には5名が一般質問には14名の議員が登壇しました。入札制度、行財政改革、少子化対策、地域医療整備、参画と協働のまちづくり、洪水防止のまちづくり、コミュニティバス、米政策、男女共同参画・国際理解センターの事業拡充、教育費の35%カット、おでかけサポート事業、救急医療の均衡化、企業誘致、行革大綱、定住人口増加策、交通網の整備、心のケア、職員の意識改革、6歳児までの乳幼児医療などについて市長の考えをたしました。



代表質問



競争原理が働く制度に

—— 情報の拡大などで
対応します ——

市政研究会
藤本正巳議員

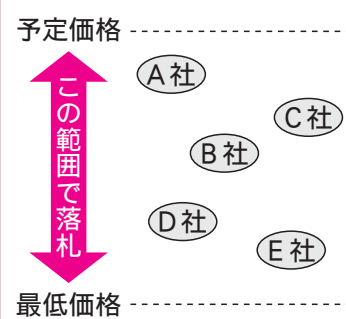
問 入札減が一番の財政改革でないか。1回目不調の場合は、新たな業者を指名し入札すべきでないか。入札結果はすべて開示の対象となる。入札指名委員会の現状はその期待に込んでいるのか。業界に談合体質があることは認識しているか。予定価格がマル秘のため聞き出すために数多くの贈収賄の事件が起こっている。行政のトップ、担当者、議員、親族等々多くのケースがある。一般、指名入札にしても競争の原理を働かせるオープンなフィールドを設定する時期でないか。予定価格と最低価格の公表が公平な競争の場をつくる第一歩と考えるがどうか。

答 「入札制度検討委員会」を設置し、透明性の高い公正な競争を促進し、不正行為が発生しない制度にするため、情報公開の拡大、多様な入札方法の採用、不正行為への罰則強化などについて検討を進めています。

提案をしてもらっている予定価格と最低価格の事前公表については、業者が聞き出す必要がなくなり、職員の不正行為が

なくなる反面、落札価格が高止まりになります。業者の見積努力を損なわせる談合が一層容易に行われる可能性があるといった懸念もあります。「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」では、適切と判断する場合は事前公表を行うこともできるものとするとして、これから検討したいと思っています。

予定価格の事前公表



代表質問



市民と協働の行革実施を

—— 市民の意見を実施計画に反映 ——

公明党
小山欣弥議員

問 「行政改革プラン」の策定には広く市民も加わった中で進めることが参画と協働になると考えるが、具体的にどのような取り組みでいくのか。

答 市民をはじめ五役のあり方についても市民の意見を聞くなかで検討する必要があるのではないかと。

ということであるが、これにも外部の目を入れた中での事業の仕分けが大切ではないか。

問 市民に夢と希望を与える丹波市の振興計画を急ぐべきではないか。

答 丹波市づくりの方向性、基本事業については「丹波市総合計画審議会」を設置し、基本構想、前期基本計画の策定を進めており、3月定例会に提案し、審議をいただく予定です。

代表質問



確かな少子化対策に向けて

—— 協議会を設置し計画を見直します ——

市民クラブ
岸田昇議員

問 少子化対策に向けて新たな協議会を設立し、計画の見直しと住民の意識啓発向上への子育て支援ガイドブックなどを発行する考えはないか。

答 次世代育成支援対策推進協議会を本年度中に設立し、本計画を推進する中で見直しも協議していきます。また、啓発については児童虐待対策なども含めた内容で今後さらに検討を進めていきます。

問 事業主および市職員の雇用に関する行動計画の策定義務とその公表、今後の対策はどうか。

答 市内では6事業主が県労働局に届け出しています。内容については公表されていません。市庁舎内職員に対しては、仕事と育児が両立でき

る体制づくりに努めています。早出、遅出勤の申し出の実績は今はなく、今後制度を活かした環境などの整備を進めていきます。

問 行革大綱に基づき実施計画については、12月中旬から1カ月間、市民の意見を広く聞くパブリックコメントを実施し、計画の中に反映します。市の五役のあり方については、現在必要ですが、今後の重要な課題と受け止めています。

問 行革大綱の中では、すべての事務事業、行政全般を徹底的に点検する



△行財政改革の指針に

問 事業主および市職員の雇用に関する行動計画の策定義務とその公表、今後の対策はどうか。

答 市内では6事業主が県労働局に届け出しています。内容については公表されていません。市庁舎内職員に対しては、仕事と育児が両立でき

る体制づくりに努めています。早出、遅出勤の申し出の実績は今はなく、今後制度を活かした環境などの整備を進めていきます。



△子育て環境の整備を

代表質問



地域医療と柏原日赤問題は

市全体の医療バランスを考慮

日本共産党議員団
広瀬憲一議員

代表質問



夢ある市政への市民参画を

人材育成や市民主体の参画を促す

清政会
田村庄一議員

問 市の地域医療体制は、市民の生命に関わるだけに最重要課題である。柏原日赤は70年の長期に渡り地域医療に貢献し、地域の中核病院としての役割を果たしてきたが、経営悪化のため、閉鎖も検討されている。議会での説明もないまま、すでに市民病院建設の話が、進んでいるようだが、全市の医療体制（山東地区）が望まれるだけに、移転も含め存続を図るべきである。

答 地域医療の格差は正に配慮し、市内どこでも高度医療を受けられるよう整備充実に努め、市全体の医療バランスを考慮します。12月中に開かれる「丹波市の病院のあり方検討協議会」の結果を待ちます。

問 来年から実施される障害者自立支援法は障害者の生きる権利を奪う、憲法25条を無視した最悪の自立破壊法である。

答 障害者年金受給者と、十分に働くことができない障害者にとって、1割負担は大きい。③福祉事業者と障害者との対立による分断がおきるなど問題がある。市障害者支援計画を財政上の都合だけを優先させず、すべての障害者（児）が安心して暮らせる施設、作業所など充実支援せよ。

問 心して暮らせる施設、作業所など充実支援せよ。いて、自立と社会参加の観点で検討します。また、市内の各団体の意向を尊重し社会福祉法人など支援します。国、県の補助事業を見据え具体的施策を計画し検討します。



△障害者（児）の生活支援を

問 会派主催の市民ミーティングで多くの意見を聞いた。「夢と生きがいのある市政」への願いは強い。

答 行財政改革をなしとげなければ明日の丹波市はないと思います。また、地域文化の継承と創造、特性を活かしたまちづくりが大切です。職員が市の現状を理解し、認識の統一と課題解決に取り組み、地域に密着した細やかな対応ができるよう、資質の向上に心がけていきます。

問 ふるさとを愛する教育や若者の参画による、市を担う人材の育成が必要である。

答 若い人の参画と協働の機会や青少年主張発表会の拡充も図りながら、地域リーダーの養成や市民主体の参画を促しながら、必要と考えると思います。

また、自治の理念や市の姿勢、市民の権利や役割などを定める「まちづくり条例」は必要です。「安全・安心」、「活力」のあるまちづくりを基本理念とした研究委員会を立ち上げ検討していく考えです。



△市政への市民参画を

高谷川流域に地下調整池を

整備計画を策定後国、県に要請

前川豊市議員



問 高谷川流域の水位は加古川の水位より低く、洪水時には加古川の水が逆流してくるため、高谷川の樋門を閉じなければならぬ。樋門を閉じると高谷川の内水は排水できなくなり、周辺住宅に浸水の恐れがある。

水被害を受け、多くの商業施設や家屋に多額の被害をもたらしたことから、河川整備を強く国、県に要望しているところです。現在、「加古川水系丹波圏域河川整備計画懇談会」が設置され、市も参画する中で、専門家や地元代表や有識者で、高谷川流域の整備計画が策定されます。この検討結果を受け、河川改修の早期事業着手、事業実施を国、県に強く要望していきたいと考えます。

問 本市の出生率や人口の減少傾向をどう認識しているか。「次世代育成支援行動計画」を推進する「本部」と「課・室」を設置し体制強化を図るべきでないか。

答 晩婚・未婚や子育てと仕事の両立の負担などが起因しています。子育て支援に関わり一体的に業務運営のできる組織を検討します。

問 コミュニティバスについて、県の「基本構想」や市の具体的な取り組みと導入時期はどうか。

答 「市公共交通活性化推進協議会」を設置し、意向把握、地域力を生かした交通サービスの方策を検討していきます。

高谷川流域分割
(加古川水系丹波圏域河川整備計画懇談会資料)

△こんなに広い高谷川流域の水が、横田・母坪地区に集中する

少子化対策の体制強化を

子育て支援の一体的な組織を検討

西本嘉宏議員



問 障害者や乳幼児の医療費助成制度を「内部で検討する」としていたがどうか。

答 障害者の入院にかかる費用負担額と6歳までの乳幼児入院費用を助成します。

問 介護保険の「社会福祉法人などによる利用者

負担軽減制度」の実施施設はどれだけか。また、その軽減率の2分の1を市で助成できないか。

答 市内2法人で実施され、1法人は実施の届出を行い、他法人も前向きに検討されています。市単独の上積みは考えていません。



△子育て支援の充実を

答 加古川と柏原川の合流付近は、河床が高く過去にも多くの水害を受けた地域です。昨年台風23号でも浸



新たな農業施策を

米飯給食は増やす
方向で

荻野拓司議員

問 農業は市の基幹であり、市政で標榜される「人と自然の交流文化都市」の重要な要であると認識する。そのため、一層従来からの施策の転換が求められると思うが、次の点はどうか。

①転作配分の事務は再来年からはJAや地域が主体となって取り組む国の基本方針が出ている。このことへの市の対応や、農業振興施策への取り組みへの考えはどうか。

②新たな施策の一環として「特産課」の設置を求める動きがあるが、その考えはどうか。

③「農育」、「食育」という考えがもっと学校教育の場で実行されることが重要である。このことや、農業振興の立場からも、現在市島地域で実施され

ている完全米飯学校給食を、全市での実施に向けて取り組まれないか。

答 ①19年以降の生産調整はJAの意向が重要となります。また、「丹波市農業農村振興協議会」が市の農業振興計画や施策立案等の最高決定機関で、現在、振興計画の策定を進めています。

②「特産課」は、特産物のブランド化をめざし、生産の拡大と情報が必要なかで、今後必要になってくると考えています。

③市民の意向を十分調整していくことが必要ですが、米飯給食の回数をさらに増やす方向で給食運営協議会に諮り、取り組む考えです。



△ごはんの給食おいしいなあ



男女共同参画の拡充は

運営委員会を設置して
充実を図ります

平井孝彦議員

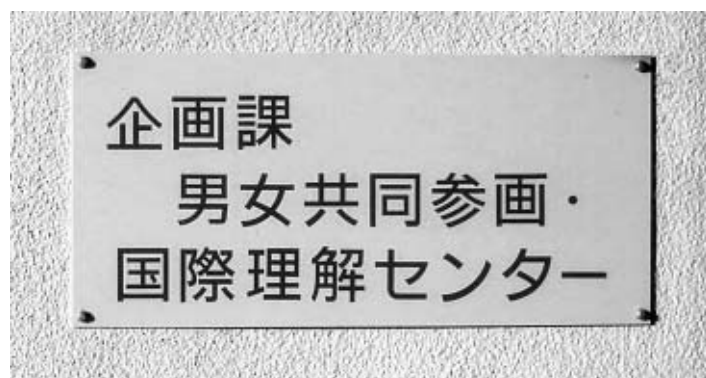
問 男女共同参画・国際理解センターが設置されたが、人的にも業務内容についても不十分と考え、相談窓口や研修、啓発、人材育成や活動交流支援、調査研究などの業務を拡充して、センターとしての役割を位置づけ、見直す必要があると考えらるかどうか。

答 開設して半年経過したところですが、不十分と考え検討をしています。運営委員会を設置して市民の意見を聞き検討を進め、センターの充実を図ります。

問 障害者にとって住みよい市が健常者にとって住みよい市である。ユニバーサル社会の実現をめざし、障害者自立支援法・発達障害者支援法に

基づく就労と自立を進めるためにも、働く場所づくりや就労・生活支援が必要である。丹波市就労・自立総合支援センターの設置が急務と考えるがどうか。

答 障害者の一般企業への就職は現状難しいと認識しています。県や市の役割分担の中で連携を密にしていきたいと思います。就労・自立支援センターについては検討課題とします。



△男女共同参画の拡充を



教育関係予算を削るな

一律削減をすることなく編成します

奥村正行議員

問 一般財源の枠配分方式取り入れによる予算35%削減目標のなか、教育費においても厳しい編成がされていると聞く。

専門知識や技能をもった講師を迎える総合学習や地域社会の方に話を聞くゲストティーチャーの予算が、ゼロ査定。修繕費が50%査定。機械器具費もゼロ査定となっている。他の教育予算についても厳しいと聞いている。このことは学校現場からの要求が、ほとんど聞き入れられていない。教育関係予算は、必要経費であり、他の部署と同じように一律35%削減すべきでないと思うがどうか。

将来を担う子どもたちを育むのに必要な予算については、見直しも含め予算編成を行いたいと考えています。

合学習や施設整備は欠かすことのできない事業であり、これらを一律削減とは考えていません。



△総合学習



おでかけサポート事業の緩和策は

条件の合う70歳以上の
全市民を対象に

山下栄治議員

問 高齢者・障害者を市内の医療機関などに送迎する「おでかけサポート事業」の要件緩和について、9月の一般質問では、緩和を前向きに考え、どの回答であったが、どのような緩和対策を考えているのか。

答 「あくまでも家庭、地域などで支援できない特定の方を対象にサービスを実施する」とし、「単身世帯、高齢者のみの世帯、自動車を有しない世帯」の条件に合う70歳以上の市民を対象に要件緩和をします。

今後、拡充に関しては、福祉有償運送協議会で、有償運送も視野に入れないが検討していきます。

自主防災組織について

問 災害時の個人能力や対策には限界があり、いち早く行動できる自主防災組織の確立や強化がもっとも重要である。今後、具体的にどのような対策をとるのか。

答 市民の「生命と財産」を守るため、自主防災組織のさらなる充実に、機能できる組織の検証、点検を推進しているところです。丹波市地域防災計画を策定し、防災マップを作成、各戸・各事業所に配布し、非常時の際に役立てていた、きたいと思っています。



△大勢の利用を(おでかけサポート事業)



山東地域に総合市民病院の建設を

協議会の検討結果を
待ちたい

近藤良雄議員

問 春日地域や市島地域には総合病院がなく、不便を余儀なくされている。新市建設計画の中には、「地域格差の是正に配慮しながらどこに住んでも高度な医療が受けられるよう、地域における医療機関の整備充実に努める」とあるが市長の考えは。

答 丹波市域の総合病院は地域的な偏在が見られ、新市建設計画でも「地域格差は正に配慮しながらどこに住んでも高度な医療が受けられるよう、地域における医療機関の整備充実に努める」とされてきたところです。

現在、柏原赤十字病院の存続問題を契機として、11月22日「丹波市の病院のあり方検討協議会」が県、日赤、市および医療

関係者、住民代表者により設置されました。この協議会では、丹波市全体の医療バランスを考慮した地域医療のあり

方を検討されるもので、山東地域における総合市民病院についても検討結果を待ちたいと考えています。



△山東地域に総合病院を



若者定着に企業誘致を

パンフレットの送付や
企業訪問を

竹知正明議員

パンフレットの送付、阪神間の企業相談会、企業訪問などを予定しています。

下水道汚泥減量化

問 下水道施設は多額の費用をかけた事業である。住民に汚泥減量化の成果を数字で示し、自分た

ちの大切な施設だという意識をもってもらい協力や環境に対する啓蒙を図るべきではないか。
答 汚泥削減装置を導入して効果が現れており、各施設の処理方式も研究していきます。また処理場見学などの啓発活動を行います。



△積極的な企業誘致を



行財政改革の基本は

目標数値により財政
運営を行います

足立正典議員

問 行財政改革の基本は確たる健全財政の確立である。そこで市の歳入から考えられる健全な財政規模の考え方はどうか。

また、起債の償還計画や、コスト分析などを考慮した財政の再建計画となっているのか。

答 基金の取り崩しを行わないで、地方税や交付税などの収入に見合った財政規模が健全財政になると考えます。

財政の指標は経常収支比率、起債制限比率、標準財政規模などの多くの財政指標があります。

これらの数値を目標数値として財政運営を行います。起債の償還計画は財政収支見通しの中で計画、コスト分析については今後取り組んでいきます。



△行政にコスト意識を

問 市民の協力なくしてこの行革を進めていくことはできないと考えるがどうか。

答 公募による検討委員会や、パブリックコメントを市として初めて取り入れ、多くの市民の意見を聞きながら策定してい

きます。この計画の個々の実施に当たっては十分な説明を行い、結果に基づく検証や公表を行うことにより、市民と行政の目で事業を見極め、多くの英知を集結できると思っています。



企業誘致と定住人口増

雇用の確保・拡大を
進める

小寺昌樹議員

市内外に広くPR活動を図り販売促進に努めます。

問 青垣総合運動公園の温水プール使用料が、合併前は身体障害者手帳を有する者および療育手帳を有する者は、65歳以上者と同様の半額260円であったが、合併後は、身障者は520円となっている。

答 利用いたくことで、機能訓練や障害の進行を抑制し、健康増進を図る上に有効であると考えており、早急に関係部局と調整をします。

健康寿命日本一を目標とするなら、リハビリと健康増進に必要であり、使用料の減額措置が早急にできないのか。

答 利用いたくことで、機能訓練や障害の進行を抑制し、健康増進を図る上に有効であると考えており、早急に関係部局と調整をします。



△入居者を待つ(青垣 応相寺団地)

問 少子高齢化が進むなか、定住人口増加策が緊急の課題で、応相寺宅地分譲事業で未売却分が15区画あるがこれらの取り組みをどのようなのか。
答 入居条件の緩和施策が必要と考えています。春日和田山道の開通で、



子育て支援は一体化せよ

一体的に取り組む組織を検討します

足立 修議員

問 アフタースクール事業では地域により格差があり、保護者やボランティアの負担が大きい。子育て支援に係る業務の統一ができないか。

答 安心安全な保育を実現するためには、一定の集約や運営基盤充実が必要で、子育て支援を家庭や地域ぐるみで進めるため、事業自体を法人や地域に広げていきたいと考えます。

イの基本的な型をまず定着させたいと考えます。地域での活動交流を整えるなかで発展的にしくみを構築していきます。

問 丹波市の一体化のために市域内外の道路整備を急ぐべきである。人

と経済の循環をどう考えるか。

答 国道429号の整備は住民組織と一体となり粘り強く進めます。市内の道路整備は県道市道の整備方針のなかで前倒しに進めるよう努力します。



△市内幹線道路の整備を

問 平成16年に開館された県立「こころのケアセンター」は、事件・事故によるトラウマ・PTSDなどへの対処の仕方を研修する施設である。こころのケアに携わる保健医療、福祉などで活動されている方を対象に各種課題への対処方法などについて学ぶ専門研修と、こころのケアに関する知識、理解をもとめる基礎研修を実施している。市職員で臨床心理などこころのケアの専門職めざして勉強してきた人をこのセンターで研修させ、市民のこころのケアを担当させることが人材を育成し、市民の心の健康を守ることにならないか。

答 こころのケアは専門機関と連携し対応しますが、職員の日常業務に役立つことも多くありますので、18年度研修計画に「こころのケアセンター」での研修を盛り込みたいと思います。

問 国領団地の入居に、若者優先枠を設けるべきでないか。また、保証人（市内で2人必要の条件を緩和できないか。

答 若者定住による地域の活性化と地域づくりが目的で、低所得者向けの住宅として計画されました。保証人は、特別な事情の場合は入居者と協議し設定しています。



△建設中の市営住宅国領団地

「こころのケア」の職員研修を盛り込む

田坂幸恵議員



職員の意識改革と人材育成を

行政改革と併せて有能な人材の確保

堀 幸一議員

問 行政改革を推進するためには、職員の意識改革と人材育成が必要だ。「行政改革大綱」「行政改革実施計画(案)」によると、職員を今後10年間に220人削減するため、毎年57歳以上の全職員と、さらに5人を退職奨励し、採用は消防関係を除いて退職者の4分の1とされている。職員減に比例してサービスが低下せずに維持するため職員の意識改革が必要ではないか。

また、人事考課システム(勤務評定)を導入し、より優れた人材を育て、有能な人材を確保しながら人員削減をする必要があると思うがどうか。

政治運営が求められている。職員の削減が避けられない中、民間活力の導入と事務事業を見直しながら職員の削減に取り組む必要があります。職員の意識改革と市民の皆様との意識改革も併せてお願いします。勤務評定制度については、公務能力の向上の観点から導入の必要があると考えています。

問 丹波市で安心して子どもを生み育てるため、病気や事故の多い6歳までの乳幼児に医療費を助成するべきだ。特に入院の必要がある子は命に危険がある。近隣市町はすでに実施している。

答 子育て支援として、18年7月から就学前乳幼児の入院医療費に助成し、個人負担なしとします。(所得制限あり)

問 同年齢の子の発達課題は同じであるため、保育指針と幼稚園教育要領の5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)の目標は全く同じである。本市のすべての保育園と幼稚園はそれに則り健全な子育てをしている。この実態を踏まえ、保育園も幼児教育機関とし



6歳までの医療費を無料に

乳幼児の入院医療費を無料とします

木戸せつみ議員

問 丹波市で安心して子どもを生み育てるため、病気や事故の多い6歳までの乳幼児に医療費を助成するべきだ。特に入院の必要がある子は命に危険がある。近隣市町はすでに実施している。

答 子育て支援として、18年7月から就学前乳幼児の入院医療費に助成し、個人負担なしとします。(所得制限あり)

問 行政改革を推進するためには、職員の意識改革と人材育成が必要だ。「行政改革大綱」「行政改革実施計画(案)」によると、職員を今後10年間に220人削減するため、毎年57歳以上の全職員と、さらに5人を退職奨励し、採用は消防関係を除いて退職者の4分の1とされている。職員減に比例してサービスが低下せずに維持するため職員の意識改革が必要ではないか。



△意識改革による市民サービスの向上を

問 同年齢の子の発達課題は同じであるため、保育指針と幼稚園教育要領の5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)の目標は全く同じである。本市のすべての保育園と幼稚園はそれに則り健全な子育てをしている。この実態を踏まえ、保育園も幼児教育機関とし



△小児科の窓口

常任委員会
総務委員会

人口減歯止めに 新部署

本会議において次の4議案が付託されました。

- 1.「丹波市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について」

保健福祉部を廃止し、「福祉部」「健康部」とし、福祉部に少子課を、企画部に定住対策係を、産業経済部に企業誘致係を設置。

- 2.「丹波市公民館条例の一部を改正する条例の制定について」

青垣住民センターの完成に伴い、使用料等所要の改正。

- 3.「丹波市特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長、助役、収入役、公営企業管

理者に係る給料月額5%の減額を継続するために改正。

- 4.「丹波市教育委員会教育長の給与及び旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

常勤特別職の給料月額の改正に準じて改正。



△青垣住民センター

以上の議案に対して足立助役を始め関係者の出席を求め、現地調査を含めて詳細な説明を受け審査を行い、出席者全員賛成により原案のとおり可決しました。

柏原・氷上学校給食センターの建設用地決定

候補地の選定について、範囲や条件の説明があり、最終候補地として氷上町大崎の雇用促進住宅東側にある丹波市の所有地が適地であるとの報告を受けました。

常任委員会
民生委員会

「丹波市火災予防条例の一部改正」を可決

この条例審議は11月30日の本会議で付託を受けたもので、主な改正点の内容は次のとおりです。

1. 喫煙の制限

火災警報が発令されたら、山林、原野において火災の発生するおそれが大である所では喫煙しないこと。

2. 住宅用防災機器の設置及び維持

一般住宅にも「住宅用防災警報器等」の設置を義務づける。

3. 2の経過措置

新築する住宅は平成18年6月1日から対象。現存する住宅は平成23年6月1日から適用です。

なお、審査における意見として、「住宅用防災警報器の設置について悪質な訪問販売が懸念されるので自治会長、老人会、民生委員、消防団などで十分周知すること。また、機種、価格も多

種多様であるため自治会などでの共同購入の検討も必要ではないか。」などの意見が出されましたが全員の賛成により可決されたものです。

子どもの安全確保に関する緊急会議報告

市教育委員会、市生活部、丹波警察署、丹波県民局が集まり、緊急時における連絡体制の確認が行われました。

まちづくり防犯グループの結成(報告)

市内25校区で立ち上げるよう、自治会長会などへ呼びかけていきます。組織化できたところには、活動経費、防犯活動用品などの助成(県事業)を行っていきます。



△義務づけられる住宅用防災警報器

廃棄物処理施設整備計画の中間報告

一般廃棄物処理施設を受け入れ、資源循環型社会を構築する地域に「地域活性化交付金を交付する」など取り組むこととします。

ごみ減量化施策、再資源化等にかかる答申

家庭ごみの減量化を進めるため、市民のライフスタイルの見直しを支援します。

分別収集、集団回収、フリーマーケット、再生利用商品の普及に努めるなど答申がありました。

丹波市地域防災計画案

・風水害対策編
・地震災害対策編
について報告を受けました。

産業建設
常任委員会

市全域が活性化する施設に

道の駅「かすが」建設状況などを調査



△完成が急がれる春日IC周辺活性化施設

第三セクター「春日ふるさと振興(株)」の柳川拓三社長と横山保史支配人から説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

柳川社長は「この施設が春日地域のみならず、市全域が活性化するように活用したい。」

12月15日に、春日IC周辺活性化施設(仮称)道の駅「かすが」建設状況と今後の運営に関わる調査を実施しました。

建設中の建物は農産物販売施設、公衆トイレ・

「道の駅情報コーナーで、4月のオープンに備えて、稼働が急がれる農畜産物処理加工施設が一足早く完成しました。

今後の運営について、

水道ビジョン計画策定(中間報告)

市の水道事業は旧町が経営していた事業をそのまま引き継いできていますが、今後料金の格差は

正や施設整備の平準化など様々な課題を抱えています。

市はこうした課題に対し、本年度中に「水道ビジョン基本計画」を策定することとしており、委員会に様々な課題を抱えた現状の水道事業の中間報告がありました。

報告によると、水需給面では水需給の不均衡、施設面では施設更新の効率的実施の必要性、施設整備レベルの平準化が求められます。

また、維持管理面では非常時の応援体制の整備・強化や維持管理の効率化、経営財政面では事務処理を向上することによりコストの削減が求められます。

行財政に係る
調査特別委員会

議員定数を検討

9月の定例会において、市の財政状況を適確に把握を行い、行政改革に向けた調査研究を目的として『行財政に係る調査特別委員会』を設置しました。

調査の内容は、

- ①行財政の改革に係る事項。
- ②議会議員定数の適正化に関する事項。
- ③議会運営の改革に関する事項。
- ④その他必要な調査の4項目であり、これらについて12月までに6回の会議を開きました。

その結果、「議会議員定数の適正化に関する事項」については、委員会としての結論を出し、12月定例会において中間報告をしました。その内容は、「本委員会が定数減を求める多数の意見をふまえ『丹波市議会議員定数検

討委員会(仮称)』を設置し、早期に検討すること」としました。

合併時における行革

市町村が合併する時に、合併前の議員の身分について、議員の任期を延長し全議員を一定期間合併後の議員とする「議員在任特例制度」があり、兵庫県下の自治体もその制度を採用しているところがありますが、丹波市の場合は、その制度を採用せず、市長と議員の同時選挙となりました。

●近隣市の議員定数

市名	人口	議員定数		議員1人当りの人口
		法定数	条例定数	
丹波市	72,862人	30人	30人	2,429人
篠山市	46,325人	26人	22人	2,106人
養父市	30,110人	26人	22人	1,369人
朝来市	36,039人	26人	26人	1,387人
西脇市	45,718人	26人	20人	2,286人
三田市	111,737人	34人	24人	4,656人

これにより、議会に係る経費を大きく削減しました。

その額は、仮に1年間の任期延長(篠山市の場合は13カ月の延長)した場合でみると、1年間の差額は1億2800万円、その分が削減となっています。

住民の声をもっと 身近に

柏原町古市場
谷口 芳規

合併して1年余り、もうそろそろあ
すの丹波市の道筋が見えるころ。
でも一向に町づくりの方向性が示されな
いのはなぜだろう。

小規模な町を統合して、足腰を強くし
て、住民にとって住みよい空間を提供し
ようというのが合併の謳い文句。にもか
かわらず行政の視点は市民の暮らしから遠
ざかりつつあるような気がする。

台所事情の厳しいことは承知している。
合併前の「駆け込み事業」なども財政逼迫
の一因かもしれないが、そのことは既に
織り込み済みのはず。にも拘わらず住民
との連繫によって進めなければならない
イベントや地域事業に対しては「経費
節減」の（紋所）を突きつけての「予算カ
ット」が頻りと聞く。

旧町で行政とタッグをくみ、営々と築
いてきた仕組みをカットしてしまうこと
は「住民参加」のまちづくりにブレーキ
をかけ、住民との距離を遠くしてしまう。

地域振興の事業が市の目指す方向性と
相容れないのであれば、行政の意向を示
し理解を得る努力をすべきだ。また議会
も市民の声をこれまで以上に市政に繋ぐ
ことに尽力し、住民の《願いやチエ》を
活用して、誇れる町—丹波市の構築に向
け一意専心、努めてほしい。

子どもと命

春日町野上野
山本 義敬

昨 年は命に関わる二つの事件で年を
越しました。

一つは下校途中の児童殺害事件です。
丹波市内でも下校途中の不審者事件が発
生し、学校やPTA、地域のボランティア
等が付き添って下校しています。不審者
に対する恐怖だけでなく、子ども達の中には
歩道も無い狭い道を、車を避けながら命
がけで通学している子もたくさんいます。

二つ目は人の命を軽んじた耐震強度偽
装事件です。市内の中学校は合併前に校
舎の改築や改修を終えましたが、春日町
の黒井小学校では老朽化が進む危険校舎
の中で、今日も子ども達が勉強しています。

ところで、今、丹波市では旧町から持
ち込まれた大型事業が最優先的に進めら
れ、市の財政を大きく圧迫しています。
そのために18年度の予算は、学校の教育
予算も含め一律35%カットで編成されて
います。

そのような中での市の子育て支援対策
は、刺身の上の造花のように見えますが、
議員諸氏にはどう見えますか。



表紙 説明

明治の末期まで青垣地方で、
農家の片手筒として織られ、「縞
縹」「佐治木綿」などと呼ばれ
ていたものが、その価値を見出され、「丹
波布」と名づけられた。素材、技術、意匠
の三要素は、すべて天然資源であり、この
地方独特の風土によって織られている。「紡
ぐ」「染める」「織る」の技術は当地方の人
達が永年かかっ
て残してきたも
のを、受け継ぎ
伝えてきたもの
です。現在、第
4期生7名の伝
承生と専修生5
名がともに先生
の指導を受けて
います。



△丹波布伝承館（道の駅あおがき）

編集後記

昨年の異常寒波も年明けとともにようや
く緩み、新たな年がスタートいたしました。
議会だより「たんばりんぐ」も第5号の
発行となり、充実した内容にと編集作業に
取り組んでまいりました。

今回の編集については、議会の指摘によ
って市当局の提案が変わったことなど、これ
までの内容を少し変えてみました。

これから、さらに研鑽を重ね、「議会
のなかみ」が見える編集に取り組んでいき
たいと思います。